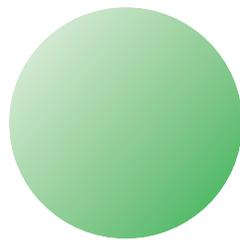


関東・水と緑のネットワーク拠点百選

～将来に残したい『自然・風景・人』のつながり～

# 選定団体事例集



# 事業の目的

## 自然との共生を取り戻すために

太陽や雨の下で植物は育ち、その植物には様々な生きものが集まってきます。古来より、私たちはそれらの動植物を衣食住のために利用してきました。一方、不要になったものは自然に還され、今度は動植物の生きる糧となっていました。また、人と自然との関わりの中から文化や芸術が生まれ、伝統的な行事などを通して人と人とのつながりも保たれてきました。私たちの生活は、まさに自然との共生の上に成り立ってきたといえます。

現在、関東地方では都市化が進み、私たちの生活は大変豊かで便利になりました。しかしそのかげで、多くの自然が減り、そこに住んでいた生きものたちの生きる場所がなくなりつつあります。そのことは、私たちの生活を自然のリズムから切り離し、自然環境の異変や人間社会の問題となって、私たちの生活に様々な影響を及ぼしています。

こうした現状を受け、多くの生きものたちとともに暮らす生活を取り戻す必要性を感じて、日々活動されている方々があります。この事業では、自然と共存した持続可能な地域づくりを進めている、そうした方々を応援していくことを目指します。

# 選定地に対する支援

選定地に選ばれた拠点は、状況に応じて様々な支援を行っています。支援内容の例としては、以下のようなものがあります。



## アドバイスをしています。

外来種の駆除や、イベントの運営、市民・企業・自治体との協働などについて、アドバイスをします。現地での指導も適宜、実施します。



## 整備の費用を支援します。

観察路や木道の整備・補修、案内板の設置など、保安全管理のための整備を支援します。

選定地は、調整の上、このような支援を行っています



## 活動を広くPRしています。

選定地を掲載したウェブサイトなどを通じて、保全活動が元気になるように広報します。

# 水と緑のネットワーク対象例

河川、道路にとどまらず、水と緑のネットワークを目指す社有地、公共施設、校庭など、幅広い活動を対象としています。

## 「水と緑のネットワーク」の考え方

野生の生きものがくらすには、様々な自然が必要です。例えばトンボの赤ちゃんは水辺で生まれ、大きくなると草地でくらしします。

水と緑のネットワーク拠点がたくさんできてつながっていけば、減りつつある日本の生きものが、これからも安心して生きていくことができるようになります。



### 雑木林

都会の身近な自然である雑木林は、動植物の貴重なすみかとなります。

### 田んぼ

冬でも田んぼに水をはることで貴重な水面ができ、水鳥なども飛来します。



### 学校ビオトープ

子どもたちとのビオトープづくりは、よい環境教育にもなります。

### 街路樹

複数種類の在来樹木を植えると、道路沿いのネットワークが充実します。



### 屋上・壁面緑化

屋上や壁面を在来植物で緑化することで、周辺の自然とつながります。



### 水路

水路沿いの在来植物を守ると、水路は多様な生きものの宝庫になります。



### 湿地

河川敷や湿地は、山と海、都市と川の自然をつなぐネットワークの主軸です。



### 公園

公園内に在来の樹木や植物を選んで植えると、自然の質が高まります。



### 事業所

事業所内に在来植物などを植えると、地域の自然と調和します。

# CONTENTS

事業の目的・選定地に対する支援 ..... 2  
 水と緑のネットワーク対象例 ..... 3

## 選定団体事例

### 第1回選定団体

①アサヒビール(株)神奈川工場 アサヒ・ビオガーデン ..... 5  
 ②我孫子市(谷津ミュージアムの会事務局)  
 谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ..... 6  
 ③市野川水系の会イン滑川町  
 市野川羽平橋～両家橋間・周辺農地 ..... 7  
 ④市原市立有秋東小学校 有秋東小学校ビオトープ ..... 8  
 ⑤井の頭外来生物問題協議会  
 東京都立井の頭恩賜公園井の頭池 ..... 9  
 ⑥NPO法人NPOさとやま 市野谷の森 ..... 10  
 ⑦乙女高原ファンクラブ 乙女高原 ..... 11  
 ⑧柏の宮公園自然の会 杉並区立柏の宮公園 ..... 12  
 ⑨NPO法人観音山丘陵調査 ..... 13  
 ⑩NPO法人行徳野鳥観察舎友の会 千葉県行徳鳥獣保護区 ..... 14  
 ⑪桐生市 桐生自然観察の森 ..... 15  
 ⑫グループうえっと はきだし沼 ..... 16  
 ⑬けやの森学園 日高市大谷沢の林 ..... 17  
 ⑭猿ヶ京ホテルの会 猿ヶ京温泉西川緑地親水公園周辺 ..... 18  
 ⑮JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 JFEトンボみち ..... 19  
 ⑯NPO法人穴塚の自然と歴史の会 穴塚大池 ..... 20  
 ⑰NPO法人秩父の環境を考える会 ちちぶの棚田、昆虫の森 ..... 21  
 ⑱千葉県立茂原樟陽高等学校(農業土木部)  
 一宮町御堂谷の谷津田周辺 ..... 22

⑲長池里山クラブ 八王子市長池公園里山体験ゾーン ..... 23  
 ⑳秦野市くずはの広場 葛葉緑地 ..... 24  
 ㉑馬入水辺の楽校の会 馬入水辺の楽校区域(相模川下流) ..... 25  
 ㉒ふるさと上谷沼地域創造塾 上谷沼調節池周辺 ..... 26  
 ㉓別府沼を考える会 別府沼公園水生植物保護区域 ..... 27  
 ㉔真岡自然観察会 鬼怒水辺観察緑地 ..... 28

### 第2回選定団体

㉕NPO法人荒川の自然を守る会  
 ミツ又沼ビオトープ ..... 29  
 ㉖栗橋さくら幼稚園 じんだんぼうのやま ..... 30  
 ㉗北川かっぱの会 八国山と北山公園(北川を含む) ..... 31  
 ㉘NPO法人こんぶくろ池自然の森  
 こんぶくろ池自然博物公園 ..... 32  
 ㉙酒々井里山フォーラム 西井戸の里 ..... 33  
 ㉚自然愛護会杉並 東京都立善福寺公園 ..... 34  
 ㉛新田自然保護の会 新田わくわく♡水辺広場 ..... 35  
 ㉜東洋水産(株)関東工場 ビオトープ ..... 36  
 ㉝東若会(東大沼・若松地区) 「木もれびの森」 ..... 37  
 ㉞はけの自然を大切にする会  
 小金井はけの森とキンヒバリの里 ..... 38  
 ㉟舞岡公園田園・小谷戸の里管理運営委員会  
 舞岡公園(田園体験区域) ..... 39



# アサヒビール株式会社 神奈川工場

—アサヒ・バイオガーデン—

File 01

活動地：神奈川県南足柄市

面積：約 50,000㎡

活動開始時期：2002年5月



## 団体の活動内容について

**約** 5万㎡に及ぶ広大なビオトープ「アサヒ・バイオガーデン」は、7:30～17:00の間、ビオトープ内を一般開放しており、地域住民や工場見学者へのコミュニケーションの場となっています。

2003年に「開成町ホタルの里づくり研究会」の方からゲンジボタルの幼虫6,000匹を貰い受け、ビオトープ内で育成しています。毎年3月に地元の小学生を招いてホタルの幼虫をビオトープ内の小川に放流しています。5月には成虫になったホタルの鑑賞会を実施しています。この幼虫の放流と一般鑑賞会は2004年から毎年実施しており、毎年3,000人前後の見学者が訪れています。

工場の設立から7年が経過した現在、シラカシ・コナラ・ヤマザクラなどの樹木が順調に生育しています。また、幅広い生態系に配慮した管理の結果、マガモ・ツグミなどの鳥類やトンボ・チョウなどの昆虫類を数多く観察することができるようになりました。ゲンジボタルの鑑賞会に代わって、2009年からはトンボ、チョウ等の生態系学習イベントなども実施するなど、地域住民や外来見学者とのコミュニケーションを推進できる機会を積極的に提供しています。



県内の小学生とその保護者を対象に、ビオトープを中心とする工場内敷地の自然観察会を毎年4月に実施しています



ビオトープ内の池には、トンボなどの昆虫や、カモ類などたくさんの生物が訪れます

# 我孫子市（谷津ミュージアムの会事務局）

—谷津ミュージアム（おかほつと岡発戸・いちぶ都部の谷津）—

File 02

活動地：千葉県我孫子市

面積：約 367,000㎡

活動開始時期：2002年4月

URL:<http://www.city.abiko.chiba.jp/>



## 団体の活動内容について

**我** 孫子市では、手賀沼沿いで最も谷津の地形と豊かな自然が残されている岡発戸・都部地区の谷津 367,000㎡をまるごと保全して、昭和30年代の農村環境の復活を目指す「谷津ミュージアム」事業を平成14年度から進めています。市ではこの事業を、20年後の将来を展望した長期プロジェクトに位置づけて取り組んでいます。

現在は、平成16年に市民との協働により設立した「谷津ミュージアムの会」が中心となって、ヘイケボタルやニホンアカガエルのすみかとなる湿地や雑木林の維持管理や、谷津田での米づくりなどの活動を行っています。湿地や雑木林の維持管理にあたっては、専門家などのアドバイスをもとにモニタリング調査を実施し、目標とする生きものの生息や生育に適した環境の確保に努めています。

今後は、谷津の自然環境の再生とあわせて、生きものと共生する伝統的な農業や生活の復活を一体で進め、それらの取り組みを通して生きた自然と郷土の歴史、風土を感じることができるよう「野外博物館」を目指していきたいと考えています。



ヘイケボタルやニホンアカガエルがすむ湿地を保全するために設置した立ち入り防止柵の補修作業



観察路に設置した階段の補修作業

# 市野川水系の会イン滑川町

## —市野川羽平橋～両家橋間・周辺農地—

File 03

活動地：埼玉県比企郡滑川町

面積：約 100,000㎡

活動開始時期：2008 年 4 月



### 団体の活動内容について

**2**002年に始まった、まとまった河畔林の中を大きく蛇行をくりかえしながら流れている市野川（羽尾地区）の河川改修がきっかけで、市民による川の保全活動がスタートしました。2005年には、専門家の協力もあり、市民の発意で「市野川協議会」を設置しました。河川管理者である埼玉県の協力を得て、1年間で7回の話し合いを行い、蛇行部分の計画が見直されることになりました。その後、これまでともに活動してきた団体が母体となり、「市野川水系の会イン滑川町」ができました。

現在、市民による河川環境モニタリングや川あそびイベント、クリーンエイド活動などを実施しています。あわせて、自然と人の共生のシンボルであるミヤコタナゴが、野生復帰できる自然の復活を目指しています。

2009年9月に開催した「市野川川あそび」では、魚類の生息実態を把握することができ、市野川への理解と関心を高めるきっかけになりました。今後もこうした活動を継続し、市野川の保全・再生運動を盛り上げていきたいと思っています。



川あそびで市野川に生息している魚類について水槽展示を行いました



今後の選定地の環境管理について関係者で話し合いながら、決めていきます

# 市原市立有秋東小学校

## —有秋東小学校ビオトープ—

File 04

活動地：千葉県市原市

面積：約 890㎡

活動開始時期：2009年1月

URL:<http://www.ichihara-chb.ed.jp/yuhigashi-e/>



### 団体の活動内容について

**市** 原市教育委員会より「環境教育」の指定を受け、3年生が中心となって学校ビオトープを活用した環境学習に取り組んでいます。ビオトープ内で観察できる水生生物、昆虫、植物、校内の「野鳥の森」の探索や観察記録をもとに、調べ学習を中心に取り組んでいます。また、四季折々にビオトープにやってくる生きものの観察も大切にしています。調べてわかったことなどは、ビオトープ通信を通じて、保護者や地域へと発信しています。2008年には、千葉県立中央博物館でも発表をしました。

学校ビオトープには全校児童が関わっていますが、特に3年生が中心となってビオトープを活用しています。子どもたちは、学校ビオトープやその周辺の動植物の四季による変化をつぶさにとらえ、その変化を発表しながら学習を展開してきました。保護者や地域の方々もびっくりするほど、子どもたちはとても動植物に詳しくなりました。環境教育公開研究会でも、その様子を紹介しています。



児童たちが生きもの調査をしています



学校の授業でも積極的に取り入れています

# 井の頭外来生物問題協議会

## —東京都立井の頭恩賜公園井の頭池—

File 05

活動地：東京都武蔵野市

面積：42,000㎡

活動開始時期：2008年12月



### 団体の活動内容について

**都** 立井の頭恩賜公園は、2017年に開園100年を迎える、武蔵野の面影を色濃く残した歴史ある公園です。井の頭外来生物問題協議会は、外来生物の調査や啓発活動を参加5団体で協力して行い、園内にある井の頭池の生態系保全に取り組んでいます。

具体的には、月1回の協議会の開催、定期的な外来魚捕獲実験・魚類調査、公園利用者を対象とした外来魚の捕獲実験やパネル展示・パンフレットの配布等の普及啓発行事などを行っています。

2009年度は、毎月1回の協議会の開催および定期的な外来魚の捕獲実験・調査を行いました。今年で外来魚の捕獲実験を始めて4年目。在来魚のモツゴの数が増えつつあると感ぜられるようになりました。

また、井の頭公園の利用者を対象に外来魚の捕獲実験やパネル展示、パンフレットの配布などを行うことで、利用者と外来魚や生態系の存続などの問題を共有することができ、活動への賛同を得ることができました。



池に生息している魚類について調査を行っています



効率よい方法を試行錯誤しながら、外来魚の駆除をしています（右下の写真はブルーギル）

活動地：千葉県流山市

面積：約 250,000㎡

活動開始時期：2002年7月

URL：<http://www.nposatoyama.com/>



### 団体の活動内容について

**選** 定地である市野谷の森は、流山市の中央に位置し、下総台地の隆起地と谷津が複雑に入り混じった地形の上に、まとまった樹林がある場所です。市野谷の森は、つくばエクスプレス（TX）の沿線開発の際に、森全体を住宅地として開発する予定でしたが、希少な生きものが確認されたことから、自然保護運動が始まり、最終的に公園を目指して森が残されました。この森は2010年に策定された流山市の「生物多様性なぐれやま戦略」にもオオタカが生息する自然豊かな重要拠点として位置づけられています。

会では、自然観察会を毎月開催しているほか、動植物の調査、流山市から委託を受けた公園管理等を行っています。

市野谷の森は、今後公園として公有地化していく予定ですが、一般の方がむやみに入って猛禽類の繁殖に大きな影響を与えたり、モラルのない人が希少な植物を採取してしまうといった問題などがあるため、公園予定地の地権者や千葉県の担当者と話し合いながら、希少な野生動植物の保全を呼びかける看板を設置し、地域住民の方などに対する普及・啓発も行っています。



選定地である市野谷の森を舞台に毎月観察会を実施しています



雑木林の環境管理作業をすることで、希少な野草などが顔をのぞかせるようになりました

# 乙女高原ファンクラブ

## —乙女高原—

File 07

活動地：山梨県山梨市

面積：約 7,600,000㎡

活動開始時期：2001 年 4 月

URL：<http://fruits.jp/~otomefc/>



### 団体の活動内容について



定地である乙女高原は県有林であり、1999 年に山梨県の事業として始まった「森林文化の森」の指定地です。

「乙女高原の自然を次の世代に確実に譲り渡す」ために、乙女高原の自然や歴史などを知る調査活動、実際に汗を流して作業する保全活動、人々に乙女高原の自然や歴史を知ってもらう環境教育、活動の様子をより多くの方に知ってもらう情報発信という 4 つの柱を立てて活動しています。具体的には、秋に大勢のボランティアが集まって草刈りを行ったり、乙女高原案内人養成講座という人材養成を行ったりしています。

乙女高原では、亜高山帯特有の植生が、シカの食害によって被害を受けることが問題になっています。そこで、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」の支援を受けて、シカから植生を守る柵（シカ柵）を設置しました。設置にあたって、設置時期の検討や先行事例の視察を実施しました。設置後、シカ柵の内側では、4 年ぶりにミズチドリが開花するなど、柵の内と外で植物の生育状況が異なることが分かりました。今後、継続的な調査でシカの動向を見極めつつ草原植物の保全をしていきます。



シカによる食害を防ぐため、みんなで柵を設置しました



毎年恒例の環境管理の草刈りボランティアには 200 名を越す方が参加されます

# 柏の宮公園自然の会

## —杉並区立柏の宮公園—

File 08

活動地：東京都杉並区

面積：43,458㎡

活動開始時期：2002年6月

URL：<http://kashinomiya-shizennokai.jpn.org/>



### 団体の活動内容について

「杉並区立柏の宮公園」は延べ 380名を超える区民が話し合いを重ね、公園憲章や基本計画を策定し出来上がった公園です。「柏の宮公園憲章～みんなの夢を自然の営みの中で育む公園づくり～」に基づき、杉並区と区民ボランティア団体「柏の宮公園くらぶ」が協働で公園を育てています。「柏の宮公園自然の会」はその中の一団体として、都内住宅地の真ん中に残された希少な在来動植物が生息するこの公園の自然環境を保全する活動を杉並区や他団体と連携して行っています。

柏の宮公園は、明るい草地や雑木林、そこにつながる3種類の水辺、斜面地など変化に富んだ環境がコンパクトにまとまっており、神田川沿いの昔からの植生が残る貴重なスポットですが、同時に近隣住民にとっては緑を楽しみ、自然を感じ、憩うための場所でもあります。公園の利用と生態系保全のバランスをとるために、一般開放する部分と保護・保全していく部分とにゾーニングし、来園者に対して理解と協力を呼びかけています。

また、冬期湛水不耕起田んぼの米作りや、自然観察、保全体験プログラムなどを通じて、子どもからお年寄りまで様々な人が自然にふれあい、環境について考える場づくりにも取り組んでいます。



冬期湛水不耕起の田んぼのイベントは、地域住民の方を中心に約300名が参加されています



公園内の植生について調査を行いながら利用する部分と保全する部分を区別しています

活動地：群馬県高崎市

面積：約 3,000㎡

活動開始時期：2007年5月



## 団体の活動内容について

**選** 定地にある沢は、サンコウチョウやミゾゴイ、ホトケドジョウ、カジカなどの生息が確認されており、近隣の河川で開発が進んでいるなか、都市近郊の丘陵地ながら非常に貴重な動植物が生息している稀有な地域です。

この小河川の自然を安定的に保全するために、生息する動植物の調査、水質調査、自然観察会の実施、河川の清掃活動、荒廃農地の復元などを行っています。また、ゴミ不法投棄防止のために、高崎市へゴミ不法投棄防止ネットの必要性について説明を行い、視察を受け、許可を得てネットを設置しました。その結果、不法投棄ゴミは激減するなどの効果が得られています。



沢には、サンコウチョウやミゾゴイなどの鳴き声を聞くことできるほど良好な自然環境が残っています



沢の岩の壁面にはイワタバコが見られます

活動地：千葉縣市川市

面積：約 550,000㎡

活動開始時期：1979 年 11 月

URL：<http://homepage2.nifty.com/suzugamo/top.html>



### 団体の活動内容について

**千**葉県行徳野鳥観察舎は、自然環境の保全を目的に国が指定した行徳近郊緑地特別保全地区（約 83ha）の一角にあります。この地域では、これまでに国内で確認された野鳥の約半分にあたるおよそ 280 種の野鳥が確認されており、特に渡り鳥の中継地として、国際的にも重要な拠点となっています。

主な活動として、埋立地に造成された行徳鳥獣保護区（約 56ha）における湿地の整備や管理のほか、傷ついた野鳥の救護活動、自然観察会などを行っています。埋立地において、生活排水を水源にした湿地を創出した取り組みは国内でも他に例がないことから、基礎データを得るための生物調査を継続して行っています。また、その調査結果に基づいて、専門家等とも連携を図りながら、生きもののくらしを最優先に掲げた湿地の保全・再生を進めています。

目標は、かつてこの地域一帯に数多く飛来していたシギやチドリなどの水鳥を再び呼び戻し、地域の原風景を再生することです。



ボランティアによるガマの刈り取り作業の様子。開けた水面を好む水鳥を呼ぶために、夏場に草刈りを行っています



浅く開けた湿地には、サギやシギ、チドリの仲間がやってきます

# 桐生市

## —桐生自然観察の森—

File 11

活動地：群馬県桐生市

面積：189,000m<sup>2</sup>

活動開始時期：1988年4月

URL：<http://www.city.kiryu.gunma.jp/web/home.nsf/69cbf98852227b3d49256a0a00103fce/660401d01d287d1a49256e5a000e5138/>



### 団体の活動内容について

**桐**生自然観察の森」は、環境省の補助を受け、1988年4月に開設された、全国10ヶ所にある自然観察の森の一つです。関東平野の北端で、日光連山の南端に位置し、生きものの生息環境は多様です。

園内の植栽には、園芸種を用いず、近隣に生息する野生種のみで構成する方針で、生きものの生態に即した環境管理を行っています。身近な植物や動物などの生きものを観察しやすいように整備・管理しているほか、生物調査なども行っています。年に約40回の観察会や研修会、講座などを行っているほか、市内外の小学校や幼稚園、ボーイスカウトなど団体の利用にもプログラムの提供をしながら、身近な自然とのふれあい・命の大切さを守る場として活用、対応しています。

近年減少しつつある身近な里山の自然環境に対し、自然の保護・保全を図りながら、桐生市民及び周辺住民が身近な自然とのふれあいを通じて、自然の仕組みを理解し、生命の大切さを学ぶ場として活動しています。



ネイチャーセンターでは、職員およびレンジャーが常駐し、観察指導、案内、情報提供等を行っています



「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」の支援を受けて希少な動植物を守るための看板を設置しています

活動地：千葉県野田市

面積：約 4,000㎡

活動開始時期：1998年4月

URL：[http://www.geocities.jp/tad\\_alex/index.html](http://www.geocities.jp/tad_alex/index.html)



### 団体の活動内容について

**野**田市にある「はきだし沼」で活動しています。もともとため池だった「はきだし沼」にはオオセスジイトンボとオオモノサシトンボという全長5センチほどのトンボが棲息しています。ともにめずらしいトンボで、棲息する環境の変化により数が少なくなり、2000年には絶滅危惧種に指定されました。

これを踏まえ、「はきだし沼」の保全の必要性を関係機関に請願し、地元である野田市が1998年より沼や周辺の水田を借り上げることになりました。草刈りやゴミの撤去などの保全活動や、貴重な2種類のトンボの保護を目的に、毎月の沼の管理作業、夏の観察会を行っています。

近年は新たに外来魚が確認され、問題となりました。現在、トンボが産卵するヒシの育成や、外来魚のブルーギルの駆除を実施しています。



夏に行われた観察会の様子



オオセスジイトンボ（左）とオオモノサシトンボ（右）  
同時に見られるのは世界でも4～5か所しかありません

# けやの森学園

## —日高市大谷沢の林—

File 13

活動地：埼玉県日高市

面積：約 33,000㎡

活動開始時期：1999年4月

URL：<http://keyanomori.tv/>



### 団体の活動内容について

**け**やの森学園は開園当初から30年以上にわたって、「生きる力を育む自然の教育」の理念の下に、主に幼児の教育活動に取り組んでいます。10年ほど前から、地権者のご協力を得て、日高市内にある約33,000㎡の雑木林の維持・管理を行っています。

武蔵野台地の丘陵上にあるこの雑木林の周辺には、かつては縦横に小川が流れ、河畔林の景観を維持していましたが、まきや炭を使わない生活になった頃から、明るい森はうっそうと茂った森へと姿を変えていきました。

そこで、地域の専門家とも相談しながら、雑木林をさらに良い状態で残していくために、生きもの調査に基づいた保全管理の計画をつくりました。現在は、この計画に沿って、保護者や地域の方々と協力して、伐採や枝打ち、下草刈り、ゴミ拾いなどの作業を行っています。これらの雑木林の保全管理を通じて、そこにすむ生きものの変化を観察することもできます。

今後も、子ども達と身近な自然との接点となっているこの貴重な雑木林を、健全な状態で維持し、自然観察や林遊びなどのプログラムを通して、子ども達の豊かな感性と健康な体を培う活動に力を入れて取り組んでいきたいと思えます。



林遊びの様子。林に入ると、子ども達の笑顔と歓声がはじけます



かつての明るい林を再生するため、スギなどの針葉樹を伐採した後に、子どもと一緒に広葉樹の苗を植えているところ

活動地：群馬県みなかみ町

面積：約 10,000m<sup>2</sup>

活動開始時期：2007年10月

URL：<http://www.sarugakyo.biz/>



### 団体の活動内容について

**関** 東の北端・利根川源流にある「みなかみ町猿ヶ京温泉」は、清らかな水・深い緑・豊富な温泉に恵まれた歴史と文化の残る山里であり、選定地では数多くの動植物を見ることができます。自然豊かな地であるため、小川や緑地の整備・保護を主な活動とし、清流を好むゲンジボタルやハイケボタル、ドジョウをシンボルに、地域本来の自然を復活する取り組みを行っています。ホタルやカワニナの生息できる環境を目指し、自分たちで草刈機や軽トラック、重機を活用し、定期的な草刈や池の整備を行っています。また、ホタルが成虫になる時期にはメンバーが協力しあい、池の水温・気温の測定やカワニナ施設の水質管理を毎日行っているほか、ホタルの幼虫の上陸数確認も毎晩実行しました。

選定地では、ホタルのさなぎが人の立ち入りによって踏みつけられないように木道を整備しました。また、ホタルが乱舞する夏の夜の鑑賞会を始めとして、地元住民に対しては年間を通して季節ごとに鑑賞会も実施しています。活動の様子はウェブサイトで随時情報を発信しています。



ホタルが舞う山里を復活すべく、活動をしています



地元の青年たちを中心に、地域本来の自然環境を取りもどしつつ、村おこしまでつなげる活動をしています

活動地：神奈川県横浜市

面積：約 2,000㎡

活動開始時期：2007年12月

URL：<http://www.jfe-eng.co.jp/>



### 団体の活動内容について

**J**FEエンジニアリング株式会社鶴見製作所では、近隣の企業10社とともに横浜市との間で「京浜の森づくり未広地区共同緑化宣言」を交わし、水辺や樹林などの身近な自然の創出をめざす「京浜の森づくり」に取り組んでいます。

2009年5月には、JR鶴見線の線路に面した敷地に、遊歩道と水辺のビオトープからなる公開緑地「JFEトンボみち」を整備しました。現在、社員と公募で集まった市民で結成した「トンボみちファンクラブ」のメンバーを中心に、昆虫や植物などの自然観察や、外来種の除去作業などを定期的に行っています。最近では、地域の子どもたちが身近な自然と触れ親しむ場所として利用される機会が増えていることから、今後は近隣の小学校の環境学習などでの活用も進める予定です。

これらの活動の成果は、毎月1回発行しているファンクラブ通信や活動報告会などを通じて広く地域に発信しています。このほか、市民団体、行政、専門家、学校などが連携し、トンボを指標にした調査を通じて京浜臨海部の森づくりを進める取り組み「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」にも参画し、地域の生きものがすみやすい、生物多様性に配慮した環境づくりに取り組んでいます。



雨水を利用し、トンボやアメンボなどの水辺の生きもののすみかとして整備したビオトープです。地域の子どもたちが身近な自然と触れ親しむ場所として利用されています。



近隣の小学生と一緒に希少種のコウホネを移植しました。環境学習の拠点として活用も進める予定です。

活動地：茨城県土浦市

面積：約 1,000,000㎡

活動開始時期：1989年4月

URL：<http://www.kasumigaura.net/ooike/>



### 団体の活動内容について

**土** 浦市穴塚にある自然環境・歴史的な環境に恵まれた約 100ha の里山を次世代に残し、生物多様性を維持し環境教育の場として活用すると同時に、地域の伝統文化もふまえた保全活動を、大学サークル・小中学校、企業、都市住民を巻き込み、地元の協力を得ながら行っています。生物多様性を損なわないよう、専門家の指導を仰ぎながら、調査に基づいた保全活動を行っています。

例えば、草刈りのみの林、落葉掻きも実施する林等、林によって保全手法を変えています。湿地では、猛禽類の生息に配慮した草刈りのほか、保全計画に基づいた順応的な管理等を、ため池では外来種の駆除や、広い開水面を確保するための野生ハスの刈り取り作業等に取り組んでいます。「田んぼ塾」では、伝統文化に学びつつ、生きものに優しい無農薬・無化学肥料による米づくりを実践しています。「穴塚米」オーナー制度では、農家から高値で米を買い取り、都市住民に販売する農家支援を行っています。この他に、果樹園や竹林の整備管理等、里山の多様な環境に多様な人が集う活動を継続発展させています。穴塚の里山は 3/4 が私有地であることから、将来的に確実に保全が行われるよう、県や市の行政担当者と定期的な学習会を開催しています。



森林の管理作業は、企業・学校等と協力して実施しており、大勢の方の参加があります



田んぼ塾の田んぼでは、様々な種類の稲を栽培しています。案山子づくりも行います

# NPO 法人 秩父の環境を考える会

## —ちちぶの棚田、昆虫の森—

File 17

活動地：埼玉県秩父市

面積：約 15,000㎡

活動開始時期：2008 年 4 月

URL：<http://www.urawa.ne.jp/~chichibu/>



### 団体の活動内容について

**長** 尾根丘陵（秩父ミュージックパーク）は、多くの施設の建設に伴い自然破壊が進み、希少生物などの減少が著しいのが現状です。こうしたなか、当会では残された「棚田（谷津田）の再生」と、「昆虫の森づくり」を活動の柱に据えています。

「棚田の再生」では、ビオトープ作りと希少種の保護を進めるとともに、高校と協働で古代米を栽培したり、企業との連携による地元住民・都市住民の交流事業も実施しています。

「昆虫の森づくり」では、市有地における環境調査を行うとともに、ゴルフ場跡地に昆虫の食性や地域の生態系に配慮した樹木の植栽活動を、一般市民、企業の参加のもとで行っています。

棚田の再生や、昆虫の森づくりを通じて、活動に参加された方々には、一度破壊された自然環境を再生することの大変さを学んでもらっています。



地域の生態系に配慮した植栽を長尾根丘陵、秩父ミュージックパークゴルフ場跡地で行っています



一般への啓発活動の一環として、親子対象のイベント「昆虫探検隊」を毎年開催しています

# 千葉県立茂原樟陽高等学校（農業土木部）

—一宮町御堂谷の谷津田周辺—

File 18

活動地：千葉県長生郡一宮町

面積：約 2,400m<sup>2</sup>

活動開始時期：2003 年 1 月



## 団体の活動内容について

**高**校における部活動として地権者や地域住民の方々と連携し、耕作放棄された谷津田の再生・保全活動に 30 年以上取り組んでいます。生きもの調査や観察会を行うほか、継続的に環境に配慮した米づくりを行うことで、豊かな生態系が広がる田んぼを育てています。

これまでに、単調な流れにならないような小落差工を組み入れた農業水路を整備したり、放棄された水田の畔を増やすべく区画を小さくした開墾なども行ってきました。米づくりも、谷津田の生態系の中心的な役割を担うニホンアカガエルの生態に合わせて行っています。生きものに配慮したこれらの田んぼでは、標準区画水田との比較で、動物の個体密度が 1.9 倍に、植物の種数が 1.5 倍になったという調査結果も出ています。

生徒は、開墾した田んぼでの米づくりやそれに伴う維持管理作業を通して、農業と野生の生きものとの関わり合いを体感し、野生の生きものを保全するための視点を身に付けていきます。また、普及活動として、地域住民対象の自然観察会や農業作業体験会、地元保育所への出前授業、中学生やボーイスカウトとの共同作業などに取り組んでいます。



2009 年度は、水路を渡る小さな橋や堰、また休憩場所も整えました



百選の支援を受け、休憩場所ができたことで谷津田が地域交流の場としても機能しはじめています

活動地：東京都八王子市

面積：約 10,000㎡

活動開始時期：1999年6月

URL：<http://www.nagaike.info/>



### 団体の活動内容について

**八** 王子市長池公園内の里山体験ゾーンを活動エリアとして、「①良好な自然環境の保全、②住民コミュニティの形成、③市民の手による里山文化の育成・継承」を柱に継続的な里山保全活動を行っています。毎月1回の定例活動として、広く一般から募集した会員を対象に、どんと焼き、炭焼き、田植え、かかし作り、稲刈り、芋掘り、椎茸駒打ち、収穫祭、自然観察会などの里山体験イベントを実施しています。

このたび助成を受けて取り組んだのは、トンボ池（面積約 155㎡・最大水深 70cm）を中心とした水辺の保全活動です。トンボ池ではコサナエ、クロスジギンヤンマなど 10 種類以上のトンボの生息が確認されていますが、近年はアメリカザリガニやウシガエルが増殖してトンボ類が減少しています。そこで 2008 年度からモンドリ網を設置し、外来種の駆除を続けています。2010 年 11 月には公園管理者と協力して池のかいぼりを行い、富栄養化の原因となる堆積物を排出しました。さらに護岸改修や水辺移行帯作りも進めていきます。

田んぼでは 2009 年度から冬期湛水を始めたところ、ヤマアカガエルの産卵数が増えました。脱穀後の稲藁を、かかし作りなどに使うだけでなく切り藁にして田んぼに戻すことも始めました。今後も、里山体験ゾーンの多様な環境を良好に維持できるよう活動していきます。



モンドリ網を池に入れ 2～3 日おきに確認します。餌がなくてもザリガニやウシガエルが入ります



トンボ池の本格的なかいぼりは初めてのことで、ヘドロ状の黒い泥は 10 年間に堆積した腐植質です

活動地：神奈川県秦野市

面積：約 170,000㎡

活動開始時期：1998 年 4 月

URL：<http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/>



### 団体の活動内容について

**葛**葉緑地は、丹沢山塊を源とする葛葉川の浸食によってできた峡谷沿いにあり、緩やかに蛇行する流れによって形づくられた、変化に富んだ景観と豊かな河畔林が広がる緑地です。1987年には、市街地に残された貴重な緑地として、神奈川県のアナトラス1号地に指定されました。

緑地内を流れる葛葉川は護岸がされていないため、川本来の姿がそのままの状態に残されており、アブラハヤやカジカガエル、カワセミなどの希少な生きものが生息しています。緑地内では、川沿いの崖のすそにある湧水を利用して、トンボやホタルなどの水辺の生きものがすむ湿地やせせらぎを創出するなど、生物の多様性を向上させる取り組みを行っています。また、緑地の中央にある拠点施設の「くずはの家」では、自然観察や緑地の保全・管理などを通じて、多くの市民の方々が自然について学び、触れ親しむ機会を提供しています。これらの取り組みは、市の職員とボランティアスタッフとの協働によって企画・実施しています。



葛葉川沿いに広がる葛葉緑地は300種以上の植物が観察されるなど、生きものの宝庫です



親子対象に開催した自然体験イベント「水遊び隊」の様子。豊かな自然にふれることができる貴重な空間です

活動地：神奈川県平塚市

面積：約 70,000㎡

活動開始時期：2001 年 4 月



### 団体の活動内容について

**駐** 車場として利用されていたり、粗大ゴミが放置されていた相模川の河川敷の一部に、草はらやトンボ池、ワンドなどを復元した「馬入水辺の楽校」。相模川で唯一の水辺の楽校として、国土交通省や平塚市、NGO や自治会などと連携して、自然観察会などの環境学習をはじめ、復元した水辺や草はらの保安全管理などを行っています。

河川敷すべてを人間が利用するのではなく、生きもののすみかの確保を優先した、自然公園的な形で保全・管理することを目指しています。そのため、地元の平塚市博物館や専門家のアドバイスを受けながら、継続的に生物調査を行い、その結果をもとに、望ましい河川敷の保全と管理活用のあり方をみんなで考えています。

年間を通じて様々なイベントを行っています。力を入れているのがエコアップ活動です。市民参加でワンドやトンボ池などの環境改善を行っています。草原のエコアップでは神奈川県では準絶滅危惧であるカヤネズミの古巣がみつきり、その保護がテーマの一つとなっています。

活動の目標は、生きものいっぱいの楽校づくりと多様な環境学習活動の展開です。その実現に向けて、受け皿となる組織づくりと、リーダーの育成に取り組んでいます。



身近な生きものをテーマにした「自然観察入門講座」などにも取り組んでいます（写真は、野鳥観察会の様子）



エコアップ活動では生きもの調査を行ない、目標とする環境や生きものが戻ってきたかどうかを確認しています

活動地：埼玉県さいたま市

面積：約 180,000㎡

活動開始時期：2007年4月



### 団体の活動内容について

**上** 谷沼調節池は大宮台地の最南端にあり、南北を藤右衛門川が縦断する谷戸の一角に整備された調節池です。これまでの整備や維持管理は、洪水時にあふれた水を受け入れる目的で行われたものだったために、自然環境への配慮が十分ではありませんでした。このため、昔から地域にいた動植物の保護や、分布を広げつつある外来植物への対策などを当面の課題として、調節池を管理する行政との間で解決に向けた意見交換を重ねています。

調節池に隣接する小谷場中学校には湧水や雑木林が、また谷戸の高台沿いには、屋敷林や斜面林が連続した形で今も残っています。都市化が進んだこの地域においても、水辺から草地、雑木林にかけて連続する谷戸の自然環境を一体で守ることで、地域の自然の質を高めることができると考えています。

今後も、自然観察会や外来種の除去作業、環境をテーマにした講演会などの様々な活動を通じて、地域の方々が身近にある自然の存在を再認識し、地域の財産として共有できるように、継続して呼びかけを行っていきたいと思います。目標は大宮台地の水循環の再生と、かつてこの地域の名産品だった「浦和のうなぎ」の復活です。



定例自然観察会では、生きものや植物の不思議にびっくり。子どもたちの発見に、おともなも会話が弾みます



最近、急速に分布を広げているアレチウリの除去作業の様子。猛暑の中、アレチウリと格闘した後に飲むビールは最高です

# 別府沼を考える会

## —別府沼公園水生植物保護区域—

File 23

活動地：埼玉県熊谷市

面積：3,795㎡

活動開始時期：1991年11月



### 団体の活動内容について

**公** 園内にある3つの池には、昔の自然豊かだった頃に確認された沼の水生植物が今でも存在し、ヒメシロアサザ・ミズアオイ等の希少な植物も確認されています。

近隣の自然とのつながりを考えると、多くの種類の植物がまとまって見られる数少ない池として、次世代に残していくべき重要な場所といえます。そのため、会では、公園内に自生している希少植物を保護・増殖するとともに、別府沼が、子ども達に自然の大切さを知ってもらう場所となるよう活動しています。

2009年度は、熊谷市の協力により、多様な環境を創出するため沼に段差をつける工事を実施しました。また小学校の協力も得られ、総合学習においてミズアオイの育成活動が実現するなど、希少植物の増殖に向けた活動が始まっています。



会員総出で、選定地の植生管理をしています



選定地で見られる絶滅危惧種のミクリです。埼玉県内では希少な植物です

活動地：栃木県真岡市

面積：約 140,000m<sup>2</sup>

活動開始時期：2000 年 4 月



### 団体の活動内容について

**真**岡自然観察会」は、水鳥のオオバンが繁殖する公園、「鬼怒水辺観察緑地」を活動拠点としています。選定地には、オオキトンボ、コバネアオイトトンボやマダラヤンマといった貴重なトンボが生息しているほか、湿地にはタコノアシやハンゲショウなどの植物が見られます。

ここでは、多様な動植物が生育・生息する里山や湿地など身近な自然の大切さを認識し、これをより多くの人に伝えていくため自然観察等の普及啓発活動を行っています。その一環として、市内の小中学生への観察指導や、自然に関する写真展を実施しています。

また、鬼怒水辺観察緑地の日常管理の委託を受けて、選定地の調査や良好な生態系を維持するために外来種の駆除や水位の管理、清掃活動などの環境管理作業を実施しています。



選定地の環境管理の様子です



中学生対象の環境学習（自然観察会）を実施しました

# NPO 法人 荒川の自然を守る会

## —三ツ又沼ビオトープ—

File 25

活動地：埼玉県上尾市、川越市、川島町

面積：約 130,000㎡

活動開始時期：1991 年 5 月

URL：<http://arakawa.main.jp/>



### 団体の活動内容について

**荒**川とその周辺に残された自然を子どもたちの大切な財産として保全していくことを目的に、1991年に会をつくり活動しています。荒川の堤防は首都圏の大草原。河川敷は今なお多様な環境を維持し、多様な生物の生息空間があります。川につながる台地の斜面・湿地・雑木林は荒川の水源です。共に多様な遺伝子の宝庫と考え保全・再生の活動をしています。

2001年には、国土交通省が埼玉県の上尾市、川越市、川島町にまたがる荒川と入間川のかつての合流点付近を買い上げ、三ツ又沼ビオトープとして整備しました。現在、水と緑のネットワークの拠点となる三ツ又沼ビオトープおよび、その周辺の保全管理、自然環境調査、環境教育の推進などに取り組んでいます。

具体的な取り組みには、

#### ○三ツ又沼ビオトープの自然管理作業

外来植物（セイタカアワダチソウ、オオブタクサ、アレチウリなど）の除草、竹林の伐採

#### ○環境教育の推進・調査活動

一般市民を対象とした「自然塾三ツ又」の開催、市民参加の堤防植物調査の実施

などがあります。



三ツ又沼ビオトープでは、帰化植物の除去など年間35回程度、保全活動をしています



増加しているハチクやマダケを減らすために、5月・6月は若竹の伐採、1月・2月は竹の伐採作業を実施しています

# 栗橋さくら幼稚園

## —じんだんぼうのやま—

File 26

活動地：埼玉県久喜市

面積：約 500㎡

活動開始時期：2010年4月



### 団体の活動内容について

**栗**橋さくら幼稚園のある栗橋地域は利根川と渡良瀬川の合流点に近く、市内には、埼玉県の天然記念物の指定を受けた湿地「浮野<sup>うきや</sup>」をはじめとする湿地帯が広がっています。

近年、周辺では宅地化が進み、水田の埋め立てや雑木林の伐採が相次いで行われるようになり、かつては身近にあった緑や水辺が失われつつあります。そこで、20年ほど前まで栗橋地域に存在していた里山の風景や自然があふれる居心地の良い環境を子ども達と共有したいという思いから、園内にかつての自然環境を創出する取り組みを始めました。

園の敷地内に整備した園庭ビオトープ「じんだんぼうのやま（地元の言葉で、“どんぐりの山”）」には、子どもたちが自然を通して“感じる心”を育むことができるように、ドロバチの家や、小動物のすみかとなる落ち葉だめ、コウモリの家などの様々なしかけをつくりました。

子ども達が日常的に自然と触れ親しむなかで、豊かな感性を育み、自然の営みや命に対する思いやりの心を持てるように成長してほしいと願っています。

今後は、保護者の方や地域の方と一緒に、この「じんだんぼうのやま」をゆっくり育てていきたいと思えます。



園庭ビオトープに設置したドロバチの家（右手奥）とコウモリの家（左側の盛土）



季節に応じて様々な生きものがやってくる園庭ビオトープ。五感を使って自然を体験できる格好の場所になっています

活動地：東京都東村山市

面積：約 440,000㎡

活動開始時期：1995年5月

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>



### 団体の活動内容について

**狭** 山丘陵の東南にあり、人気映画「となりのトトロ」の舞台にもなった八国山・北山公園一帯の緑地の保全と、その前を流れる北川の清流復活の夢を掲げて、会の活動が始まりました。

毎年春と秋には川そうじを行う「北川クリーンアップ」、夏には水辺の生きもの観察や自然体験を行う「北山わんぱく夏まつり」などのイベントを行政との協働で取り組んでいます。また、近隣の小学校の総合学習や課外授業、地域の子どものための自然学習の場としても利用しています。

こうした日頃の地道な活動が実を結び、2004年には北川のコンクリート護岸の一部が自然護岸化され、かつての水辺がよみがえりました。さらにその翌年には、落差があるために上下流を行き来できなかった魚類のために魚道が整備されました。最近では、ブラックバスの駆除作業や子どもたちの環境学習にも積極的に取り組んでいます。

これらの活動の成果は、年に5回発行する機関誌「かっぱ通信」や、ウェブサイト、ブログなどを通じて広く発信しています。引き続き、地域の自然に対する思いを共感できる仲間をさらに広げていきたいと考えています。



コンクリート護岸をはがして自然護岸を再生した場所で、小学生を対象にした水辺の生きもの観察を行っている様子



落差工を改良して、当時、世界で3か所しか設置されていなかった先進的な魚道が整備されました

# NPO 法人 こんぶくろ池自然の森

—こんぶくろ池自然博物公園—

File 28

活動地：千葉県柏市

面積：約 185,000m<sup>2</sup>

活動開始時期：2006 年 4 月



## 団体の活動内容について

**柏**市の北部に位置するこんぶくろ池は、珍しい台地上湧水に涵養された湿地であり、その周りの樹林地と一体として、市街地のなかの貴重な自然が残されているところです。ここでは、ズミ、クロウメモドキ、クロツバラ、ヌマガヤなど冷温帯性の湿地性植物が生育する他、オオタカ、カワセミ、タヌキ、ノウサギなどの生息する森があります。

全国でも珍しい都市型の自然公園として整備・管理してきましたが、近年、見学者や散策者が増加し、今後の保全と利用の在り方が課題となってきました。こうしたなか、NPO 法人こんぶくろ池自然の森は、近隣の千葉大学・東京大学の協力を得ながら、この貴重な自然環境を保全・育成し、森と人の営みを活かしたコミュニティーづくりへと展開する活動を行っています。

この度、官民学協働の自然保護・再生の良い事例として評価され、更なる展開を期待して第 10 回日本自然保護協会沼田眞賞を (2011 年 1 月 22 日) 受賞いたしました。これを機に『こんぶくろ池自然博物公園』をより広く、そして深くご理解頂くように保全・保護する活動の和を広げようとするものです。



市民が自然を身近に感じ、楽しむための観察路の整備も行っています



現況の植生を活かした将来像を設定し、それに合った植生管理を行っています

活動地：千葉県印旛郡酒々井町

面積：19,339㎡

活動開始時期：2001年3月



### 団体の活動内容について

**選**

定地の周りは、市街地中心部から至近距離に位置し、住宅後背地につながる斜面林とこれに挟まれた谷津田からなる一帯の里山です。周辺は多くの縄文時代の遺跡があり、また本佐倉城跡の森の丘が望め、更に遠方には印旛沼流域の田園地帯が広がります。

選定地は、山林の斜面から枯れることなく湧水が流れ出ることから、「西井戸」の地名を持ちます。湧水は湿田を潤し、用水を経て印旛沼へ流入しています。また、ニホンアカガエルの生息が見られ、このあたりの食物連鎖の頂点である、サシバやオオタカなどの猛禽類も見ることができる自然豊かな環境です。

酒々井里山フォーラムは、「千葉県里山条例」に基づく認定団体となり、以下の活動を行っています。

1. 森林整備を中心とした環境景観の保全、自然観察、環境調査と研究
2. 耕作放棄地の再生に伴う古代米栽培及び循環型農業の構築
3. 里山を活用したモノづくり推進、シンポジウム等の開催
4. 市民及び子どもに対する環境学習の普及・啓発
5. まちづくりに関する問題提起と提言
6. 各地関連団体との協働、ネットワークづくり



生きもののために、池の深さを変えようとしています



選定地内で見られた(ニホン)アマガエル

活動地：東京都杉並区

面積：18,622㎡

活動開始時期：2005年4月

URL：<http://sas2005.eco.coocan.jp/index.html>



### 団体の活動内容について

**都**立善福寺公園は、武蔵野台地の湧水池、善福寺池と緑の景観を保存するために、内田秀五郎氏を中心とした地元有志が1万坪を東京都に寄付したことをきっかけに、昭和36年開園した風致公園です。

自然愛護会杉並は、善福寺公園内に設定された「野生生物保護区」で活動しています。選定地である保護区は、狭いながら西側が善福寺川に接している場所で水辺環境と樹林環境の2つの環境を有しています。

かつて身近だった地元の動植物を次世代に残すため、ゴミ拾い、外来種の駆除などの作業を毎週行っています。定期的に行っている調査をまとめた「活動・調査報告書」で、東京都公園協会奨励賞を受賞しました。また、定期的に観察会も行っています。



公園内の保護区内では、調査結果をもとに環境管理作業を実施しています



公園内に掲示板を作り、会の活動を公園利用者に周知しています

活動地：東京都足立区

面積：約 107,000㎡

活動開始時期：2007 年 4 月

URL：<http://shindenwakuwaku.web.fc2.com/index.html>



### 団体の活動内容について

**一**この広場は、荒川下流の足立区鹿浜橋下流右岸に位置し、荒川と隅田川のスーパー堤防に囲まれた景観の良い河川敷にあります。本会は、市民からの提案により、荒川下流にあったゴルフ場の跡地を保全することになり、自然地として再生し、残していくための活動から始まりました。

もともとはクロメダカの群棲地として知られており、クロメダカ以外にもミズカマキリなど、多様な水生動物や昆虫からなる水辺の生態系が確立されています。これはゴルフ場があった時代に一般人が40年間以上に渡り自由に入れなかったことにより偶然にも保護されていたもので、東京23区内で貴重な野生生物の多様性が残されている生息場所の一つです。

現在は、広大な敷地を活動の場として、自然保護と自然学習を通じて、生物の多様性を維持する活動を行っています。行政や地元自治体と本会との協働により、埋め立てられる直前のクロメダカの群棲地で、かつてこの地域に自生していたと言われるサクラソウの再生を試みたりと、行政だけでは実施が困難な自然地へのきめ細かい配慮を実現するとともに、地元住民への理解を広げることに取り組んでいます。



行政・地元自治体・本会の連携によって、よりよい自然地のあり方を模索します



自然が減少している東京23区内に残された、生きもののいっぱいの水辺空間です

# 東洋水産株式会社 関東工場

—東洋水産株式会社 関東工場ビオトープ—

File 32

活動地：群馬県館林市

面積：約 1,650m<sup>2</sup>

活動開始時期：2010年3月



## 団体の活動内容について

**東** 洋水産株式会社関東工場では、「食の安全・安心」と「自然との共生」を目標に掲げ、風力発電や太陽光発電、屋上緑化などの様々な環境配慮の取り組みを進めています。

周辺には利根川のほか、童謡のためき林で有名な茂林寺沼やハクチョウの飛来地となっている城沼じょうぬまなどの豊かな自然があります。そこで、地域の自然の質をさらに高めることを目的に、周辺の自然とのつながりに配慮したビオトープを工場の敷地内に創出しました。

2010年の3月に完成したビオトープは、オオタカなどの猛禽類や、ニホンアカガエルやチョウトンボなどの水辺の生きものがやってくる環境づくりを目標に掲げています。整備にあたっては、この地域に昔あった自然環境や、現在の周辺の自然環境を参考にしながら、もともと地域にあった野草や樹木を植栽するようにしました。

今後も、生きものが安心して暮らせる環境づくりを通じて、地域社会への貢献をしていきたいと考えています。



もともこの地域に生えていたエノキやハンノキなどの樹木や、ススキやフジバカマなどの植物を植栽しました



水辺には周辺の地域からアサザやコウホネなどの植物を移植し、この地域の原風景の再生を目指しています

活動地：神奈川県相模原市

面積：約 85,000㎡

活動開始時期：2007年5月



### 団体の活動内容について

**国** 道16号沿いのまちなかながら、都市化が進んだ相模原市内に残された貴重な緑地、「木もれびの森」。「木もれびの森」には、今ではまちなかにほとんど見ることのできなくなった希少な動植物が生息しています。

会では、「木もれびの森」の一層の環境向上を目指して、下草刈りや柵の補修、枯損木の処理などの活動をしています。環境管理の内容については、神奈川県や相模原市と協議しながら進めています。

また、多くの市民に「木もれびの森」への関心を高め、森の保全や活動ボランティア、次世代に引き継ぐために森に触れ、感じてもらうきっかけづくりとして、近隣の小学校の環境学習において子どもたちによる森周辺のゴミ拾いや木の実工作などを実施しています。



地域の小学生やその保護者を招き、選定地の植物や昆虫の勉強会を行っています



選定地の管理を担っています

# はけの自然を大切にする会

## —小金井はけの森とキンバリの里—

File 34

活動地：東京都小金井市

面積：583㎡

活動開始時期：2009年4月



### 団体の活動内容について

**小** 小金井市の中央を東西方向に横断する形で続く国分寺崖線。多摩川の流れによって形づくられたこの段丘に沿って、斜面林や湧水が点在しています。その一角に「はけの森」と呼ばれている斜面林が広がっています。

森の中には湧水があり、そこから流れ出たせせらぎは道路の下を通過して向かい側の湿地に注いでいます。この湿地には、都内で絶滅のおそれのある昆虫「キンヒバリ」をはじめ、湿地性の植物や昆虫が数多くすんでいます。私たちはこの場所を「キンヒバリの里」と名付けて、森と湧水、湿地を一体で残すための活動を行っています。

2009年には、国有地だったこの湿地を売却する話が持ち上がりましたが、私たちの会の働きかけによって、小金井市が保全を目的に取得しました。湿地の一角には、現在も駐車場として利用されている私有地があることから、多くの方々から寄付を募るトラスト活動を行って、土地の取得を目指しています。

春から夏にかけてキンヒバリの美しい鳴き声を聴くことのできるこの湿地を、小金井市の財産として地域で共有できるように、自然観察会や環境管理などの行事を通じて、積極的に呼びかけていきたいと思っています。



湿地の中を流れる湧水の保全を呼びかける看板を設置しました。枯れることのないせせらぎが豊かな湿地を育てています



湿地の向かいにある、武蔵野の面影を残した雑木林「はけの森緑地」。東京都と小金井市が買い取って保全しています

# 舞岡公園田園・小谷戸の里管理運営委員会

## —舞岡公園(田園体験区域)—

File 35

活動地：神奈川県横浜市

面積：約 60,000㎡

活動開始時期：2000年4月



### 団体の活動内容について

**舞**岡公園は、昔ながらの田園風景が残され横浜の特徴的な景観である谷戸の地形を活かした公園です。植物はレッドデータ種約30種類を確認しているほか、昆虫が約280種、鳥類が約110種、爬虫類・両生類が約20種確認されているなど生物多様性に富んだ環境です。田んぼや畑、雑木林などの農的自然を四季折々に育み続け、そこに息づく生きものたちへの心配りも大切に、様々な生きものが織りなす豊かな自然の営みが末長く続くことを願って活動を行っています。

「舞岡公園田園・小谷戸の里管理運営委員会」は横浜市の指定管理者として、公園内の「田園体験区域」で、田んぼや畑の農作業、雑木林の維持作業、自然観察会、炭焼き、わら細工、季節の行事など様々な事業を行っています。作業参加のボランティアや、散策の市民の歓声や笑い声がいつも絶えない日常です。定例自然観察会を毎月1回、季節観察会を年間7回実施しています。

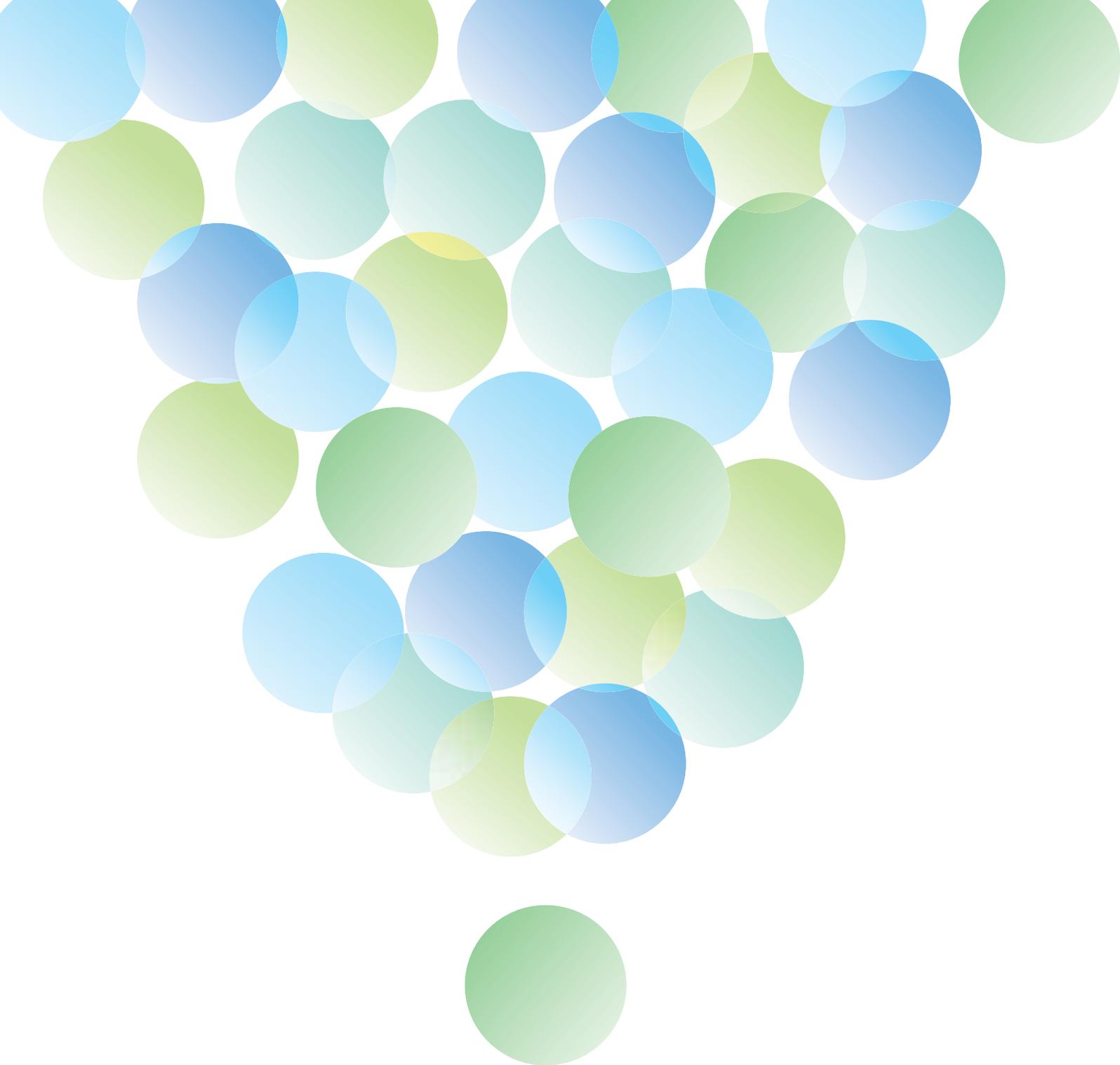
横浜市環境創造局と市民団体が、1993年の開園までの約10年間、他にほとんど例のない公園の維持と運営に試行錯誤を重ねました。その成果が実り、長年のさまざまな知恵と工夫が活かされて現在に至っています。



完全無農薬・有機栽培の田んぼにはたくさんの生きものがいます



舞岡公園憲章をつくり、生きものたちへの配慮を大切にしています



---

発行

**社団法人 関東建設弘済会**

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 4-262-16  
マルキュービル 9階  
TEL.048-600-4157

---

編集

**財団法人 日本生態系協会**

TEL.03-5951-0244

<http://www.kan-koueki.net/hyakusen>